

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
設定日	2018年10月10日	
信託期間	2018年10月10日から2029年9月25日	
運用方針	「UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)」および国内投資信託であるUBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け) を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標とします。	
主な投資対象	UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	上海証券取引所および深セン証券取引所のA株を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指します。
	UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	UBS短期円金利プラス・マザーファンド受益証券を通じて、または直接わが国のCP (コマースナル・ペーパー)、政府短期証券、コール市場等の短期金融商品および内外の円建ての公社債に投資を行うことにより、短期円金利を上回る信託財産の安定的な成長を目指して運用を行います。
主な投資制限	<p>①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。ただし、当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会規則に定めるエクスポージャーがリックスルーできる場合に該当しないときは、当該投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</p> <p>③株式への直接投資は行いません。</p> <p>④デリバティブの直接利用は行いません。</p> <p>⑤外貨建資産への直接投資は行いません。</p> <p>⑥一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</p>	
分配方針	<p>毎決算時 (毎年3月25日、6月25日、9月25日および12月25日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。) に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、計算期末の前営業日時点の基準価額水準、市況動向等を勘案して委託者が決定します。なお、基準価額水準が1万円 (1万口当たり) を超えている場合には、上記①の範囲内で分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合等、分配を行わないこともあります。</p> <p>③収益の分配にあてなかった利益については特に制限を定めず、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。</p>	

UBS中国A株ファンド (年4回決算型)

愛称：桃源郷・年4

運用報告書 (全体版) (第3作成期)

第5期 決算日 2019年12月25日
第6期 決算日 2020年 3月25日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「UBS中国A株ファンド (年4回決算型)」は、去る3月25日に第6期の決算を行いましたので、第5期～第6期 (第3作成期) の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町 1-5-1

大手町ファーストスクエア イーストタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部

03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

© UBS 2020. キーシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

設定以来の運用実績

作成期	決算期(決算日)	基準価額 (分配落)	騰落率			投資信託 証券組入比率	純資産額
			税金 分	み 金	中 率		
第1 作成期	(設定日) 2018年10月10日	円 10,000	円 -	% -	% -	百万円 0.1	
	1期(2018年12月25日)	8,864	0	△11.4	97.9	290	
	2期(2019年 3月25日)	10,929	600	30.1	97.3	658	
第2 作成期	3期(2019年 6月25日)	10,830	400	2.8	97.5	1,684	
	4期(2019年 9月25日)	10,763	300	2.2	94.4	1,979	
第3 作成期	5期(2019年12月25日)	10,992	600	7.7	100.5	2,217	
	6期(2020年 3月25日)	9,702	0	△11.7	93.7	3,005	

(注1) 基準価額は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注4) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数(参考指数)はありません。

(注5) 投資信託証券組入比率は、当ファンドの追加・解約と有価証券売買の計上タイミングがずれること等により、一時的に100%超の数値となる場合があります。(以下同じ)

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
第5期	(期首) 2019年 9月25日	円 10,763		% -	% 94.4
	9月末	10,791		0.3	94.4
	10月末	11,272		4.7	98.1
	11月末	11,409		6.0	98.3
	(期末) 2019年12月25日	11,592		7.7	100.5
第6期	(期首) 2019年12月25日	10,992		-	100.5
	12月末	11,076		0.8	103.0
	2020年 1月末	10,917		△ 0.7	98.7
	2月末	10,573		△ 3.8	100.3
	(期末) 2020年 3月25日	9,702		△11.7	93.7

(注1) 基準価額は1万口当たり。

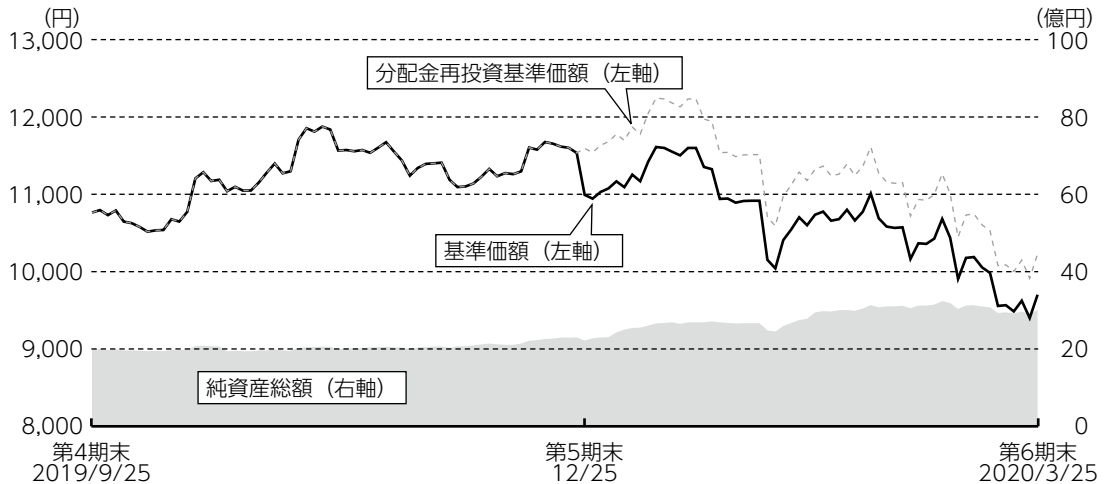
(注2) 期末の基準価額の騰落率は分配金込み。騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数(参考指数)はありません。

運用経過

基準価額等の推移について

(2019年9月25日～2020年3月25日)



第5期首：10,763円

第6期末：9,702円（既払分配金 600円）

騰落率：-4.9%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

既払分配金600円（税引前）を加算した基準価額の値下がり率は461円となりました。なお、基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は-4.9%となりました。

基準価額の変動要因

当作成期の基準価額は、実質組入株式の株価下落などのマイナス要因が、為替変動（円安・人民元高）などのプラス要因を上回ったことにより値下がりしました。

投資環境について

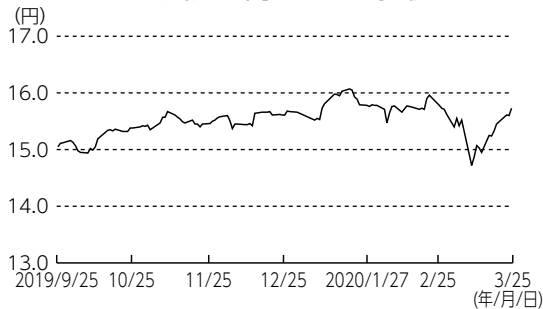
当作成期の中国株式市場は下落しました。

作成期の前半は、香港における反政府デモの激化懸念などが意識される局面があったものの、中国株式市場は方向感の乏しい展開となりました。2019年12月以降は、米中通商協議で両国が「第1段階」の合意に達したことや、中国政府による民間企業への融資および雇用促進に向けた指針の発表など、相次ぐ支援策が好感されたほか、2020年1月初旬の中国人民銀行の預金準備率引き下げなどを背景に、中国株式市場は概ね上昇基調で推移しました。

しかし1月下旬、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大をめぐる先行き不透明感や、経済への影響懸念などが投資家心理の悪化につながり、中国株式市場は2月初旬にかけて大幅な調整が入りました。その後、中国人民銀行が金融市場へ大規模な資金供給を実施したことや、経済活動への影響緩和および中小企業の資金繰り難を救済するべく、中国政府と中国人民銀行が迅速かつ、積極的な金融緩和や財政出動、規制緩和などの支援策を相次いで打ち出したことなどが好感されて、中国株式市場は間もなく反発に転じました。

作成期の終盤、原油価格の急落や、新型コロナウイルスの感染が世界各地で急拡大したことを受け、世界経済の悪化懸念などから世界的な株安が生じ、中国株式市場も大きく下落しました。作成期末にかけて中国株式市場は反発しましたが、これまでの下落分を取り戻すにはいたりませんでした。

人民元／円レートの推移



ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）およびUBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）を主要投資対象とし、期を通じてUBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）への投資割合は90%以上を維持しました。

UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）のポートフォリオについて

上海証券取引所および深セン証券取引所の中国A株のうち、各産業セクターを代表する銘柄を中心に投資しました。

●期中の主な動き

(1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄

ヘルスケアでは、漢方薬や漢方薬由来の日用品（歯磨き粉など）で高いシェアを誇る雲南白薬集団（ユンナン・バイヤオ・グループ）や、中国における食生活の変化と高齢化の進展による生活習慣病の増大で、構造的に増加が続くと見込まれる悪性腫瘍疾患向け抗がん剤に強みを持つ江蘇恒瑞医薬（ジアンスー・ハンルイ・メディスン）の買い増しにより、セクターウェイトを引き上げました。

(2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄

その一方、生活必需品については、所得水準の向上に伴う需要拡大を着実に取り込み成長の続く、中国を代表する蒸留酒（白酒）メーカーの宜賓五糧液（ウーリャンイエ・イービン）について、また金融では、主力の保険販売に加えて、近年注力するフィンテック部門の収益貢献も著しい大手保険会社、中国平安保険（ピンアン・インシュアランス）といった、昨年来、株価が大きく上昇した銘柄のウェイト引き下げを通じ、それぞれセクターウェイトを引き下げています。

なお、世界的な新型コロナウイルス感染拡大による影響に鑑み、期末時点では通常よりも高めの現金保有比率としています。

※業種はMSCI分類に準拠しています。

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）のポートフォリオについて

マザーファンドへの投資を通じて、主としてわが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を実質的な投資対象とし、利息等収入の確保を目指して運用を行いました。当作成期におきましては、利回りの優位性を勘案しつつ、無利子金融商品やコール・ローン等での運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

分配金について

当作成期は、基準価額の水準や市況動向等を勘案し、第5期は1万口当たり600円（税引前）とし、第6期は分配を行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

（1万口当たり・税引前）

項 目	第5期	第6期
	2019年 9月26日～ 2019年12月25日	2019年12月26日～ 2020年 3月25日
当期分配金	600円	-円
（対基準価額比率）	(5.176%)	(-%)
当期の収益	600円	-円
当期の収益以外	-円	-円
翌期繰越分配対象額	992円	185円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

投資環境の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大による多方面への影響は、明らかに深刻であると捉えています。足もとの市場の混乱を過小評価するべきではないものの、同時に長期的な影響について過剰反応するべきではないと考えています。多くの市場では、引き続き短期的に不安定な状況が続くことが予想される一方で、中国の長期的なファンダメンタルズは依然として損なわれていないとみています。現在の先行き不透明な市場環境に鑑み、より正確な情報を得るため、政府が発表したデータの補完として、現地調査を実施することに注力する一方、ファンド運営にあたっては以下を重視しています。

- ・オフライン（インターネットに繋がっていないサービス）からオンライン（インターネットなどのネットワーク経由で提供されるサービス）への消費者の行動変化における恩恵の享受が見込まれるセクター
- ・景気後退局面が予想される環境下をうまく乗り切ることができ、業界のリーダーとなり得る企業

また、当ファンドでは、消費関連や高付加価値商品の市場拡大、サービスおよび消費主導経済への構造転換、企業の研究開発費の増大やそれがもたらす技術革新、および市場再編などの長期的なテーマに引き続き注目しています。

当ファンドの今後の運用方針

UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）の投資比率を高位に維持する方針です。

UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）の今後の運用方針

今後もファンダメンタルズが良好な優良銘柄に割安な水準で投資できる機会をうかがいながら、運用を続けてまいります。

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）の今後の運用方針

マザーファンドへの投資を通じて、短期金融市場の状況を注視しつつ、コール・ローン等で運用する予定です。

1万口当たりの費用明細

項目	第5期～第6期 2019/9/26～2020/3/25		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	68円	0.618%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は11,006円です。
（投信会社）	(18)	(0.164)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(48)	(0.438)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	4	0.036	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.011)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(3)	(0.024)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	72	0.654	

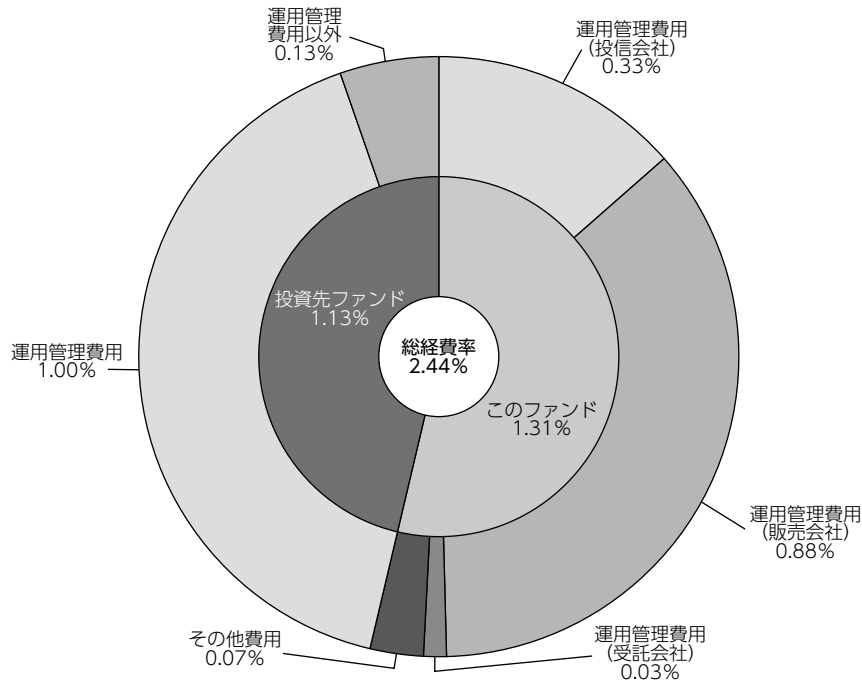
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

（参考情報） 総経費率



総経費率 (①+②+③)	2.44%
①このファンドの費用の比率	1.31%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.44%です。

期中の売買及び取引の状況 (自 2019年9月26日 至 2020年3月25日)

投資信託証券

		第 5 期 ~ 第 6 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
国内	UBS (CAY) ダイナミック・ チャイナAシェア・ファンド (J Class)	□ 29,753	千円 1,550,000	□ 7,603	千円 390,000

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

利害関係人等との取引状況等 (自 2019年9月26日 至 2020年3月25日)

当作成期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表 (2020年3月25日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第2作成期末	第3作成期末 (第6期末)		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	□ 12,016	□ 12,016	千円 11	% 0.0
UBS (CAY) ダイナミック・ チャイナAシェア・ファンド (J Class)	37,863	60,013	2,816,314	93.7
合 計	49,879	72,029	2,816,326	93.7

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合。

投資信託財産の構成

(2020年3月25日現在)

項 目	第3作成期末 (第6期末)	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 11	% 0.0
投 資 証 券	2,816,314	93.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	201,755	6.7
投 資 信 託 財 産 総 額	3,018,080	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年12月25日) (2020年3月25日)

項 目	第 5 期 末	第 6 期 末
(A) 資 産	2,461,444,676円	3,018,080,803円
コール・ローン等	232,875,001	201,754,599
投資信託受益証券(評価額)	11,977	11,973
投資証券(評価額)	2,228,557,698	2,816,314,231
(B) 負 債	244,084,818	12,478,996
未 払 金	80,000,000	-
未払収益分配金	121,031,986	-
未払解約金	36,403,887	3,344,634
未払信託報酬	6,312,434	8,623,379
未払利息	657	569
その他未払費用	335,854	510,414
(C) 純資産総額(A-B)	2,217,359,858	3,005,601,807
元 本	2,017,199,783	3,097,843,433
次期繰越損益金	200,160,075	△ 92,241,626
(D) 受益権総口数	2,017,199,783口	3,097,843,433口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,992円	9,702円

- (注1) 当ファンドの第5期首元本額は1,839,237,281円、第5~6期中追加設定元本額は1,739,382,889円、第5~6期中一部解約元本額は480,776,737円です。
- (注2) 1口当たり純資産額は、第5期1.0992円、第6期0.9702円です。
- (注3) 第6期末において純資産総額が元本を下回っており、その差額は92,241,626円です。

損益の状況

第5期 (自2019年 9月26日 至2019年12月25日)
第6期 (自2019年12月26日 至2020年 3月25日)

項 目	第 5 期	第 6 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 14,780円	△ 26,990円
支 払 利 息	△ 14,780	△ 26,990
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	147,364,485	△369,316,383
売 買 益	159,193,020	11,682,046
売 買 損	△ 11,828,535	△380,998,429
(C) 信 託 報 酬 等	△ 6,648,288	△ 9,133,793
(D) 当期損益金(A+B+C)	140,701,417	△378,477,166
(E) 前期繰越損益金	13,744,100	31,145,906
(F) 追加信託差損益金	166,746,544	255,089,634
(配当等相当額)	(3,685,063)	(26,329,188)
(売買損益相当額)	(163,061,481)	(228,760,446)
(G) 計 (D+E+F)	321,192,061	△ 92,241,626
(H) 収 益 分 配 金	△121,031,986	0
次期繰越損益金(G+H)	200,160,075	△ 92,241,626
追加信託差損益金	166,746,544	255,089,634
(配当等相当額)	(3,685,063)	(26,329,188)
(売買損益相当額)	(163,061,481)	(228,760,446)
分配準備積立金	33,428,311	31,159,497
繰 越 損 益 金	△ 14,780	△378,490,757

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 第5期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (140,706,429円)、信託約款に規定する収益調整金 (166,731,764円) および分配準備積立金 (13,753,868円) より分配対象収益は321,192,061円 (10,000口当たり1,592円) であり、うち121,031,986円 (10,000口当たり600円) を分配金額としております。
- (注5) 第6期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (26,329,188円) および分配準備積立金 (31,159,497円) より分配対象収益は57,488,685円 (10,000口当たり185円) ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

分配金のお知らせ

		1万口当たり分配金
第 5 期		600円
第 6 期		0円

- ◇分配金をお支払いする場合
分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇分配金を再投資する場合
お手持り分配金は、決算日の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◇分配金の区分について
 - ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。
分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ◇税金について
分配金は普通分配金に課税され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率が適用されます。
- ◇2020年1月1日以降の分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

UBS(CAY)ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（ケイマン籍外国投資信託）の運用状況

<参考情報>

当ファンドは「UBS中国A株ファンド（年4回決算型）」が投資対象とする外国投資信託証券です。
ご参考として掲載されている以下の包括利益計算書は、2019年2月28日現在の現地Annual Reportからの抜粋であり、現地の会計基準に基づき作成され、監査を受けたものです。なお、投資有価証券明細表は当該監査の対象外であり、未監査のものを掲載しております。また、同一銘柄でも保管形態が異なる場合には、別個に表記しています。

包括利益計算書

2019年2月28日に終了する会計期間
米ドル

収益	
受取利息	7,058
受取配当金	1,080,599
損益を通じて公正価値で評価する金融資産に係る純利益（損失）	(4,469,758)
為替取引に係る収益（損失）	(543,250)
収益合計	(3,925,351)
費用	
運用管理報酬	657,254
保管事務費用	44,765
監査報酬	24,600
役員報酬	15,500
専門家費用	12,718
取引費用	103,076
その他営業費用	3,886
営業費用合計	861,799
税引前営業利益（損失）	(4,787,150)
配当金に係る源泉税	(109,431)
税引後営業利益（損失）	(4,896,581)
償還可能証券保有者に帰属すべき純資産増加額（減少額）	(4,896,581)

2019年2月28日現在の投資有価証券明細表 (未監査)

	銘柄名	数量	簿価 (米ドル)	時価 (米ドル)
株式				
中国元				
	JIANGSU HENGRUI MEDICINE C - A ORD CNY1	582,586	3,109,936.86	6,264,834.05
	FUYAO GROUP GLASS INDUSTRIES CO LTD A SHS ORD CNY1	391,600	1,289,861.12	1,420,283.57
	WANHUA CHEMICAL GROUP CO LTD A SHS ORD CNY1	94,200	550,550.87	575,805.99
	KWEICHOW MOUTAI CO LTD A SHS ORD CNY1	54,090	3,235,821.74	6,107,877.58
	INDUSTRIAL AND COMMERCIAL BANK OF CHINA A SHS ORD CNY1	288,500	231,746.63	248,104.31
	PING AN INSURANCE GROUP CO A SHS ORD NPV	51,700	487,373.31	541,341.42
	YUNNAN BAIYAO GROUP CO LTD-A ORD CNY1	226,486	2,583,158.48	2,881,970.16
	SHANDONG DONG - E E - JIAO COMPANY LIMITED - A	40,500	258,628.07	277,058.72
	GREE ELECTRIC APPLIANCES INC A SHS ORD CNY1	10,300	58,721.64	69,013.79
	LUZHOU LAOJIAO CO LTD A SHS ORD CNY1	38,472	415,890.71	294,831.93
	YIBIN WULIANGYE COMPANY LIMITED SHARE A	84,900	789,971.53	907,892.37
	SHANDONG DONG - E E - JIAO COMPANY LIMITED - A	463,182	3,061,014.71	3,168,607.68
	WANHUA CHEMICAL GROUP CO LTD A SHS ORD CNY1	229,800	1,122,288.92	1,404,673.21
	HANGZHOU HIKVISION DIGITAL TECHNOLOGY CO LTD A SHS ORD CNY1	754,594	2,604,583.41	3,893,615.66
	BEIJING VANTONE REAL ESTATE CO ORD CNY1	1,245,003	672,137.10	744,819.48
	CHINA MERCHANTS BANK COMPANY LIMITED A SHARES	287,674	1,189,892.82	1,365,614.67
	PING AN INSURANCE GROUP CO A SHS ORD NPV	575,289	4,159,684.69	6,023,747.83
	CHINA MERCHANTS BANK COMPANY LIMITED A SHARES	1,167,195	3,924,111.34	5,540,780.90
	ZHENGZHOU YUTONG BUS CO LTD A SHS	618,931	2,339,541.90	1,303,363.41
	YIBIN WULIANGYE COMPANY LIMITED SHARE A	466,216	3,701,679.92	4,985,558.91
	MIDEA GROUP CO LTD-A ORD NPV	631,467	3,868,757.61	4,512,502.35
	PING AN BANK CO LTD A SHS ORD CNY1	146,000	227,318.98	269,893.21
	INDUSTRIAL AND COMMERCIAL BANK OF CHINA A SHS ORD CNY1	3,968,331	3,329,868.26	3,412,686.32
	JOINTOWN PHARMACEUTICAL-A SHRS ORD CNY1	503,388	1,350,814.45	1,162,440.66
	YUNNAN BAIYAO GROUP CO LTD-A ORD CNY1	105,800	1,172,422.87	1,346,275.02
	BEIJING VANTONE REAL ESTATE CO ORD CNY1	1,348,346	705,031.96	806,644.13
	GREE ELECTRIC APPLIANCES INC A SHS ORD CNY1	712,744	1,940,409.61	4,775,647.05
	KWEICHOW MOUTAI CO LTD A SHS ORD CNY1	6,100	505,745.22	688,815.92
	PING AN BANK CO LTD A SHS ORD CNY1	1,521,021	2,608,377.19	2,811,734.54
	JIANGSU HENGRUI MEDICINE C - A ORD CNY1	57,100	480,375.25	614,024.41
	MIDEA GROUP CO LTD-A ORD NPV	9,747	56,792.07	69,652.67
	中国元合計		52,032,509.24	68,490,111.92
	株式合計		52,032,509.24	68,490,111.92
	総合計		52,032,509.24	68,490,111.92

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

参考情報

当ファンドは、UBS中国A株ファンド（年4回決算型）が投資対象とする国内投資信託証券です。
ご参考として第11期決算日（2020年1月20日）の運用状況をご報告申し上げます。

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	税 込 配 金	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
				比	比	
7期（2016年1月20日）	円 10,021	円 0	% △0.0	% —	% —	百万円 608
8期（2017年1月20日）	10,010	0	△0.1	—	—	40
9期（2018年1月22日）	9,997	0	△0.1	—	—	40
10期（2019年1月21日）	9,982	0	△0.2	—	—	40
11期（2020年1月20日）	9,967	0	△0.2	—	—	40

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			比	比
(期 首) 2019年 1月21日	円 9,982	% —	% —	% —
1月末	9,981	△0.0	—	—
2月末	9,981	△0.0	—	—
3月末	9,980	△0.0	—	—
4月末	9,978	△0.0	—	—
5月末	9,977	△0.1	—	—
6月末	9,975	△0.1	—	—
7月末	9,974	△0.1	—	—
8月末	9,974	△0.1	—	—
9月末	9,972	△0.1	—	—
10月末	9,971	△0.1	—	—
11月末	9,970	△0.1	—	—
12月末	9,968	△0.1	—	—
(期 末) 2020年 1月20日	9,967	△0.2	—	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

分配原資の内訳（1万口当たり・税引前）

項目	第11期	
	2019年1月22日～2020年1月20日	
当期分配金	-円	
(対基準価額比率)	(-%)	
当期の収益	-円	
当期の収益以外	-円	
翌期繰越分配対象額	75円	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2019/1/22～2020/1/20		
	金額	比率	
信託報酬	4円	0.044%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は9,975円です。
(投信会社)	(1)	(0.011)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(0)	(0.001)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.032)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.002)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	4	0.046	

- (注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

親投資信託受益証券の設定、解約状況（自 2019年1月22日 至 2020年1月20日）

	設		解	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	—	—	9	10

(注) 単位未満は切り捨て。

利害関係人等との取引状況等（自 2019年1月22日 至 2020年1月20日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表

親投資信託残高

(2020年1月20日現在)

項目	期首		期末	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	40,594	40,584	40,584	40,640

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

投資信託財産の構成

(2020年1月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	千円 40,640	% 99.9
コール・ローン等、その他	24	0.1
投資信託財産総額	40,664	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年1月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	40,664,465円
コール・ローン等	13,549
UBS短期円金利プラス・マザーファンド(評価額)	40,640,916
未 収 入 金	10,000
(B) 負 債	9,234
未 払 信 託 報 酬	8,848
そ の 他 未 払 費 用	386
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	40,655,231
元 本	40,790,227
次 期 繰 越 損 益 金	△ 134,996
(D) 受 益 権 総 口 数	40,790,227口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,967円

〈注記事項〉

期首元本額 40,780,207円
 期中追加設定元本額 10,020円
 期中一部解約元本額 0円
 1口当たり純資産額 0.9967円
 純資産総額が元本を下回っており、その差額は134,996円です。

損益の状況

(自2019年1月22日 至2020年1月20日)

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 44,654円
売 買 損 益	△ 44,654
(B) 信 託 報 酬 等	△ 18,351
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△ 63,005
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 87,232
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	15,241
(配 当 等 相 当 額)	(19,093)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 3,852)
(F) 計 (C+D+E)	△134,996
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(F+G)	△134,996
追 加 信 託 差 損 益 金	15,241
(配 当 等 相 当 額)	(19,093)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 3,852)
分 配 準 備 積 立 金	287,628
繰 越 損 益 金	△437,865

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(19,093円)および分配準備積立金(287,628円)より分配対象収益は306,721円(10,000口当たり75円)ですが、分配を行っておりません。

UBS短期円金利プラス・マザーファンドの運用状況

参考情報

当ファンドは、UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）が投資対象とする親投資信託で、信託財産の実質的な運用を行っております。

ご参考として、第11期決算日（2020年1月20日）の運用状況をご報告申し上げます。

UBS短期円金利プラス・マザーファンド

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
		%	%	%	百万円
7期（2016年1月20日）	10,051	0.0	—	—	608
8期（2017年1月20日）	10,044	△0.1	—	—	40
9期（2018年1月22日）	10,035	△0.1	—	—	40
10期（2019年1月21日）	10,025	△0.1	—	—	40
11期（2020年1月20日）	10,014	△0.1	—	—	40

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
		%	%	%
(期 首) 2019年 1月21日	10,025	—	—	—
1月末	10,024	△0.0	—	—
2月末	10,024	△0.0	—	—
3月末	10,023	△0.0	—	—
4月末	10,022	△0.0	—	—
5月末	10,021	△0.0	—	—
6月末	10,020	△0.0	—	—
7月末	10,019	△0.1	—	—
8月末	10,019	△0.1	—	—
9月末	10,018	△0.1	—	—
10月末	10,017	△0.1	—	—
11月末	10,016	△0.1	—	—
12月末	10,015	△0.1	—	—
(期 末) 2020年 1月20日	10,014	△0.1	—	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

期中の売買及び取引の状況（自 2019年1月22日 至 2020年1月20日）

該当事項はありません。

主要な売買銘柄（自 2019年1月22日 至 2020年1月20日）

該当事項はありません。

利害関係人等との取引状況等（自 2019年1月22日 至 2020年1月20日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表（2020年1月20日現在）

2020年1月20日現在、有価証券等の組入はありません。

投資信託財産の構成

(2020年1月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 40,652	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	40,652	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年1月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	40,652,987円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	40,652,987
(B) 負 債	10,114
未 払 解 約 金	10,000
未 払 利 息	114
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	40,642,873
元 本	40,584,099
次 期 繰 越 損 益 金	58,774
(D) 受 益 権 総 口 数	40,584,099口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	10,014円

〈注記事項〉

期首元本額	40,594,085円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	9,986円
1口当たり純資産額	1.0014円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	40,584,099円
------------------------------	-------------

損益の状況

(自2019年1月22日 至2020年1月20日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 41,565円
支 払 利 息	△ 41,565
(B) 当 期 損 益 金(A)	△ 41,565
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	100,353
(D) 解 約 差 損 益 金	△ 14
(E) 計 (B+C+D)	58,774
次 期 繰 越 損 益 金(E)	58,774

(注) 損益の状況の中で(D)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。